

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社サハダイヤモンド

コード番号 9898 URL <http://www.sakha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 姜 杰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR戦略室室長兼管理部部長

(氏名) 井上 喜明

TEL 03-3846-2061

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	963	173.7	△274	—	△500	—	△511	—
24年3月期第1四半期	351	△49.9	△131	—	△157	—	△154	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △702百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △80百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△1.54	—
24年3月期第1四半期	△0.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	4,168	3,419	74.5	9.33
24年3月期	4,682	4,121	79.8	11.21

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,106百万円 24年3月期 3,735百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,400	—	△50	—	△50	—	△55	—	△0.19
通期	3,400	—	30	—	30	—	20	—	0.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、P.3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	333,172,137 株	24年3月期	333,172,137 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	21,724 株	24年3月期	21,364 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	333,150,573 株	24年3月期1Q	228,812,482 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料のP.2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要等により、企業収益や個人消費に緩やかな回復傾向が見られたものの、欧州の債務危機や円高の長期化等、電力供給不足への懸念等により、景気の先行きは依然として不透明なまま推移しました。

当社グループの属する宝飾業界においても、不況を背景とした消費マインドの落ち込みに加え、企業間の価格競争も激化しており大変厳しい経営環境となっております。

当社グループの海外事業では、当第1四半期連結累計期間に中国においてジュエリー8店舗を取得し、バージンダイヤモンドのブランド展開を行っております。

ダイヤモンド事業では、日本において楽天市場を中心としたインターネット販売に加え、テレビショッピングQVCの出演回数を増やしてまいりました。

また、当社の海外子会社公開型株式会社サハダイヤモンド（ロシア）は原石及び原石加工販売を行っております。他方、トレーディング事業は、ロシア産インゴット（金地金）の販売等を中心に行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績については、売上高は963百万円（前年同期比173.7%増）、営業損失は274百万円（前年同期は営業損失131百万円）、為替差損228百万円の発生等により経常損失は500百万円（前年同期は経常損失157百万円）、四半期純損失511百万円（前年同期は四半期純損失154百万円）となりました。

セグメント別業績の状況につきましては、これまで、「ブライダルジュエリー事業」、「インターネット事業」、「ダイヤモンド研磨事業」、「トレーディング事業」としておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、当社グループの意思決定プロセスを見直し、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための区分の変更に伴い、報告セグメントの区分を変更しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、前年四半期比較については組替後の数値で記載しております。

(海外事業)

中国におけるジュエリーの販売では、8店舗分の売上は第2四半期から計上されるため、売上高は2百万円、セグメント損失は3百万円となりました。なお、当事業は前年同期の記載はありません。

(ダイヤモンド事業)

日本におけるダイヤモンド事業の販売では、テレビショッピングQVCの出演回数が増えたことから、売上高は139百万円（前年同期比16.5%増）、セグメント損失は14百万円（前年同期はセグメント損失23百万円）となりました。

(ダイヤモンド研磨事業)

海外子会社公開型株式会社サハダイヤモンド（ロシア）では、四半期連結決算日現在で仮決算を行い連結をする方法に変更しており、平成24年1月1日から平成24年6月30日までの6ヶ月を連結していることから、売上高は821百万円（前年同期比265.3%増）、セグメント損失は38百万円（前年同期はセグメント損失14百万円）となりました。

なお、設備費等の設置は季節的要因を受けて遅れていたものの、平成24年9月頃には完了する予定であります。

(トレーディング事業)

トレーディング事業の売上高は1百万円（前年同期はセグメント売上高7百万円）、セグメント損失は164百万円（前年同期はセグメント利益0百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結累計期間末の総資産は4,168百万円となり、前連結会計年度末と比較して513百万円減少いたしました。資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

①資産

たな卸資産が88百万円増加したものの、現金及び預金が579百万円減少したこと等により513百万円の減少となりました。

②負債

前受金が219百万円増加したこと等により、188百万円の増加となりました。

③純資産

四半期純損失が511百万円計上されたこと等により702百万円減少しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月18日に公表いたしました平成25年3月期第2四半期、通期（連結）の業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

連結子会社のうち決算日が12月31日である公開型株式会社サハダイヤモンド（ロシア）については、同日現在の財務諸表を使用し連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、連結財務情報のより適正な開示を図るために、当第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日現在で仮決算を行い連結をする方法に変更しております。この仮決算の実施により、公開型株式会社サハダイヤモンド（ロシア）については平成24年1月1日から平成24年6月30日までの6ヶ月を連結しております。

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更により影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	994	415
受取手形及び売掛金	225	235
たな卸資産	1,288	1,377
その他	235	344
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	2,739	2,369
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,519	1,366
減価償却累計額	△49	△67
建物及び構築物（純額）	1,469	1,299
土地	56	109
建設仮勘定	66	—
その他	39	122
減価償却累計額	△28	△68
その他（純額）	10	54
有形固定資産合計	1,603	1,463
無形固定資産		
その他	5	4
無形固定資産合計	5	4
投資その他の資産		
投資有価証券	3	0
営業保証金	321	321
その他	12	12
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	334	331
固定資産合計	1,942	1,799
資産合計	4,682	4,168

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28	45
短期借入金	161	159
未払法人税等	11	3
前受金	233	453
その他	124	88
流動負債合計	560	749
固定負債		
その他	0	0
固定負債合計	0	0
負債合計	561	749
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,893	3,893
資本剰余金	1,458	1,458
利益剰余金	△1,820	△2,331
自己株式	△2	△2
株主資本合計	3,529	3,017
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	206	89
その他の包括利益累計額合計	206	89
少数株主持分	385	312
純資産合計	4,121	3,419
負債純資産合計	4,682	4,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	351	963
売上原価	300	1,085
売上総利益又は売上総損失 (△)	51	△122
販売費及び一般管理費	183	152
営業損失 (△)	△131	△274
営業外収益		
受取利息	0	0
受取賃貸料	—	2
その他	1	3
営業外収益合計	1	6
営業外費用		
支払利息	—	2
為替差損	23	228
株式交付費	1	—
その他	0	1
営業外費用合計	26	231
経常損失 (△)	△157	△500
特別損失		
投資有価証券評価損	—	3
特別損失合計	—	3
税金等調整前四半期純損失 (△)	△157	△504
法人税、住民税及び事業税	0	2
法人税等調整額	△2	—
法人税等合計	△2	2
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△154	△506
少数株主利益	—	4
四半期純損失 (△)	△154	△511

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△154	△506
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	73	△195
その他の包括利益合計	73	△195
四半期包括利益	△80	△702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△115	△692
少数株主に係る四半期包括利益	34	△10

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブライダル ジュエリー 事業	インター ネット事業	ダイヤモンド 研磨事業	トレーディ ング事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	69	50	224	7	351	—	351
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	0	—	—	2	△2	—
計	71	50	224	7	354	△2	351
セグメント利益又は損失 (△)	△4	△16	△14	0	△35	△96	△131

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△96百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び配賦不能営業費用△96百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に関する費用であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. トレーディング事業（ロシア産金地金の輸入販売及び資源に関する品目の取り扱い）は、新たに開始した事業であり、報告セグメントの内容を変更するものではありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	海外事業	ダイヤモンド 事業	ダイヤモンド 研磨事業	トレーディング 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	2	139	821	—	963
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	4	7	—	12
計	2	144	829	—	975
セグメント損失 (△)	△3	△14	△38	△164	△221

2. 報告セグメントの合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	△221
セグメント間取引消去	1
全社費用（注）	△54
四半期連結損益計算書の営業損失	△274

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社グループの意思決定プロセスを見直し、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための区分の変更に伴い、報告セグメントの区分を変更しております。

中国で展開するジュエリー販売については、「海外事業」とし、日本における「ブライダルジュエリー事業」及び「インターネット事業」を統合して「ダイヤモンド事業」と名称を変更し報告セグメントとしております。

なお、当該組織変更を反映した前第1四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりです。

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計
	海外事業	ダイヤモンド事業	ダイヤモンド研磨事業	トレーディング事業	
売上高					
外部顧客への売上高	—	119	224	7	351
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	—	119	224	7	351
セグメント利益又は損失（△）	—	△23	△14	0	△37

（注）トレーディング事業（ロシア産金地金の輸入販売及び資源に関する品目の取り扱い）は、新たに開始した事業であり、報告セグメントの内容を変更するものではありません。

報告セグメントの合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	△37
セグメント間取引消去	2
全社費用（注）	△96
四半期連結損益計算書の営業損失	△131

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。